

骨造成術（GBR）手術承諾書

① 骨造成術による偶発症その他のご説明

1. 骨造成手術後、身体状況によりまれに唇、舌、頬、歯肉そして歯牙の感覚マヒが一時的に発生する場合があります。また、手術部位、歯槽骨の状況により近接歯牙、顎、上顎洞、鼻腔に対する炎症、疼痛、過敏症、組織治癒の遅延及び顔面部の内出血が避けられない方もまれにおられます。
2. 喫煙、飲酒は治癒の促進を阻害します。骨組織の安定までは患者様の理解と遵守が必要です。
3. 骨造成術は個人に差異があり一概に治癒期間を予想する事が困難で、最善をつくしても結果が予想通り成功しない場合もあります。
4. 処方された薬剤の服用により吐き気、めまい、眠気、咳など一時的な副作用が現れることがあります
5. 術前、術中、術後に記録X線撮影（CT撮影）および写真撮影を行います。
6. 術後、腫れ及びしびれ、内出血の跡が残ることがあります。
7. 骨補填材が顎の骨に生着するのに数ヶ月かかり、その後安定期に入るまでまた数ヶ月かかります。（個人差、上顎、下顎、骨の密度によりかわってきます。）
8. 常用薬がある場合は、担当医にお伝え下さい。（特に、**骨粗鬆症に対する常用薬**は必ずお伝え下さい）
9. 使用する材料：MinerOss（同種骨（人骨）、凍結乾燥骨）

CopiOs Pericardium Membrane(豚心内膜を加工したコラーゲン膜)

リグロス®（科研製薬）



② 骨造成術を受けた方の術後守って頂きたい事項

1. 術後24時間は口をゆすがないでください。また、入浴、激しい運動は避けてください。
2. 術後出血がある場合は、ガーゼを30分程度噛んでください。もしそれでも出血がある場合は担当医までご連絡下さい。
3. 術後の腫れおよび疼痛を軽減する為、アイスパック等でよく患部を冷やしてください。また頭を少し高くしてお休み下さい。
4. 鼻出血がある場合、鼻を強くかまないで下さい。またその際は、担当歯科医師に相談してください。
5. 術後2週間は喫煙及び飲酒は控えてください。（治癒が遅くなってしまいます。）
6. 処方された薬剤は必ず服用してください。抗生物質は指示通りに服用してください。極力食後に服用するようにして下さい。
7. 術後、舌や指などで術部に触れないで下さい。
8. 術後、必ず定期的に検査を受けてください。応じられない場合は保証が致しかねますのでご了承下さい。
9. 歯科医師、歯科衛生士の衛生指導を遵守して下さい。

(費用)

私は、糖尿病・骨粗鬆症ではありません。また、ビスフォスフォネート系薬剤の投与を受けておりませんので、骨造成手術を希望します。前記の事を偽り治療を受けた後、当該手術において、万が一後遺症が出た場合、自己責任として処理します。私は本書面の写しを受領し書面の記載事項を貴院より十分説明を受け、偶発症など説明・術中、術後の遵守すべき事項を理解し骨造成術を希望します。

令和 年 月 日

ご住所

患者様ご署名

しのはら歯科医院 院長 篠原賢司
担当医

支払い方法

骨造成術 総費用 _____ 円

クレジットカード 現金一括払い 2分割 3分割